

スタッフ紹介 技師長 石居 隆義



大阪大学医療技術短期大学部診療放射線技術学科卒業。
1989年4月より放射線医学総合研究所病院部 診療放射線技師、
2008年4月より群馬大学医学部附属病院放射線部 主任診療放射線技師
(2014年群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻(修士課程)修了)を経て、
2018年1月より大阪重粒子線センター放射線技術部技師長に就任。

お知らせ

2018年3月1日より外来診察を開始しています。
治療開始に向けて、治療計画装置のビームデータの取得ならびに調整(臨床・コミッショニング)を行っています。
尚、治療開始は2018年10月を予定していますが、5月末で約60名の前立腺がん治療の仮予約を行いました。
切除非適応の骨軟部腫瘍、限局性前立腺がん、頭頸部がんの一部に対する重粒子線治療は保険適用になりました。
診療予約方法等については、ホームページをご覧ください。
<https://www.osaka-himak.or.jp/>

重粒子線がん治療部位別治療検討ワーキング

大阪国際がんセンター、大阪医科大学、大阪市立大学、大阪大学、関西医科大学、近畿大学(順不同)の班員の先生方にお集まりいただき、本年秋の重粒子線治療開始に向けて、プロトコールの検討等下記にて行って頂きました。

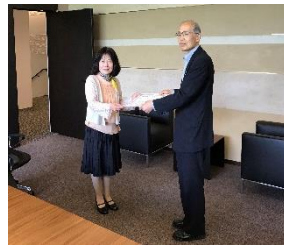
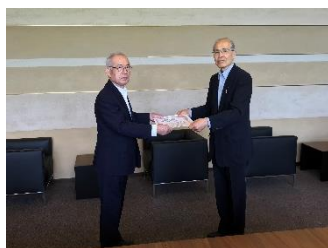
5/17(木) 肝胆膵グループ第1回委員会
5/29(火) 食道グループ第1回委員会

5/24(木) 直腸グループ第1回委員会

5/19(日) 松原市医師会にて、副センター長の茶谷正史が「新しい重粒子線治療について」講演を行いました。

5/21(月) 絵画を寄贈して頂いた皆様に感謝状を贈呈致しました。

乗房 幸画伯 作品名「花の譜」
和田秀朗画伯 作品名「ギャラリーのある裏通り・南仏」「プロヴァンスの丘の町」
船橋綾子画伯 作品名「晩夏」
酒井優行画伯 作品名「緑衣の優香」「夏日」



5/26(土) 第 91 回日本整形外科学会学術総会(於神戸コンベンションセンター)にて、ランチョンセミナーを行いました。国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 臨床研究クラスタ長の鎌田正先生に「量子メスが切り拓く新たながん治療の可能性—骨・軟部腫瘍への応用—」についてご講演いただきました。

5/26(土) 大阪国際がんセンター主催の第1回病診連携ネットワーク講演会(於ホテル阪急インターナショナル)にて、センター長の溝江純悦が「大阪重粒子線センター開院を迎えて」と題して、日本と世界の重粒子線治療の現状と臨床データ(頭頸部・骨軟部・前立腺・肺・肝臓)の発表を行いました。



— 寄附のお願い —

大阪国際がん治療財団では、広く寄附を募っています。
当財団へ寄附いただいた方には、特定公益増進法人に対する寄附として税制上の優遇措置があります。
詳しくは当財団までお問合せください。

— お問い合わせ —

発行元:公益財団法人 大阪国際がん治療財団 大阪重粒子線センター
電話:06-6947-3210 ファックス:06-6947-3211
住所:〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前 3-1-10
HPアドレス:<https://www.osaka-himak.or.jp/>

大阪重粒子線センターや治療についての詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-himak.or.jp/>

